

小学生の学校安全マップづくりをサポート

学校安全マップ

学区内における様々な危険（交通事故、不審者、損壊した地物など）から児童が身を守れるように、自分たちで見つけた危険を整理し、地図上でわかりやすく可視化した安全マップです。



展開している『学校安全マップづくり』の概要

①安全講話	交通ルールや身のまわりの危険について学習
②ワークショップ アプリ操作練習	マップづくりのイメージと活動練習 どのような情報を集めるか確認、アプリの操作練習
③フィールドワーク	保護者や地域の方と一緒に学区内を歩き、危険な情報をアプリで集める 見つけた危険を撮影し、内容を記録
④記録整理・編集	マップづくり（児童作成版） 集めた情報を整理、編集して形にする
⑤発表	完成マップのお披露目 保護者や地域の方々への発表
⑥成果展開	学内外へのお披露目、下級生等に児童主催の安全教室開催 自己効力感の相互促進、モチベーションアップにつながる機会、意識変容の確認

アプリ詳細は
裏面へ



↑ 小学3年生のフィールドワークの様子

総合学習としてのマップづくり

①

わかりやすい 目的と成果

「安全」は万人共通の重要なテーマであり、理解しやすく成果も活かしやすい

②

考える力を 育てる

興味・行動範囲が広がる学齢に、事故等の危険性を自分ごとに捉えるための重要な機会

③

知識や経験の 積み上げ

実際に自分の頭・手・からだを使う『体験型学習』の学び方を取り入れることができる

④

アプリで 学びの多様化に対応

画像・コメント・位置情報を紐付けし、データを重ね合わせて情報の統合も可能

児童への効果



- ・想像力・発見力・行動力を培う
- ・役割を全うする責任
- ・共に考える⇒相互的で深い学び
- ・振り返り⇒活かす力を育む

携わった大人への効果



- ・子どもの視点／危険を知る
- ・自身のリスク（事故）を回避
- ・意識や行動の変容

子どもにとっての
安心感

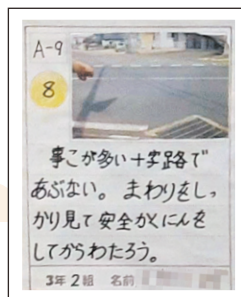
まち（地域）と共に変化する交通や環境⇒意識付けと学びの更新が重要

『教育支援地図アプリ』

「学校安全マップ」を楽しく効率的に作成できるよう開発しました



▼ 以前



▼ アプリ導入後



従来の紙での作業を
デジタル化

アプリでできること



画像整理

画像の取舍選択・画像印刷や切り貼り等

位置情報

撮影画像や地点の記録

経年利用

毎年の成果を蓄積、過去のデータも参照

発表資料

簡単な成果発表ツールを搭載

他の用途

地域のお宝、植物分布など様々な用途でのマップづくり

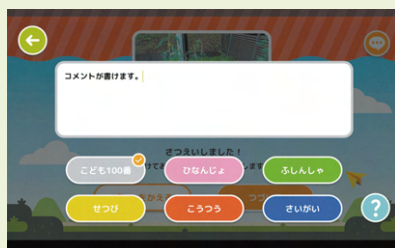
主な使用方法

①アプリを起動し写真を撮影



活動日時、撮影地点、
移動経路を
自動記録

②コメント記入し、アップロード



③採用写真を選択、説明文等のPC編集



自由度が高く、学齢や目的に応じてお使いいただけます

活用例

自然観察

動植物の写真を撮り、気付いたことを記録

まち探検

まちを歩き、防災設備を記録して校内で共有

校外活動

班活動の記録、移動経路の把握(宿泊研修にも)



お気軽に
お問い合わせ
ください

NPO法人イーハトーブ地域情報マネジメント

☎ 019-694-3351

✉ contact@ihatov-im.org

監修・
展開

岩手県立大学総合政策学部
宇佐美研究室

✉ s-usami@iwate-pu.ac.jp



<https://ihatov-im.org>